様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5 年 6 月 22 日

北九州市長　　様

提出者
住　所 北九州市門司区小森江三丁目12番10号
氏　名　　九鉄工業株式会社　北九州本店
取締役本店長　井手　光明
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　　093-371-1661

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和４年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	九鉄工業株式会社　北九州本店
事業場の所在地	北九州市門司区小森江三丁目12番10号
事業の種類	建設業・総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和４年４月１日～令和５年３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

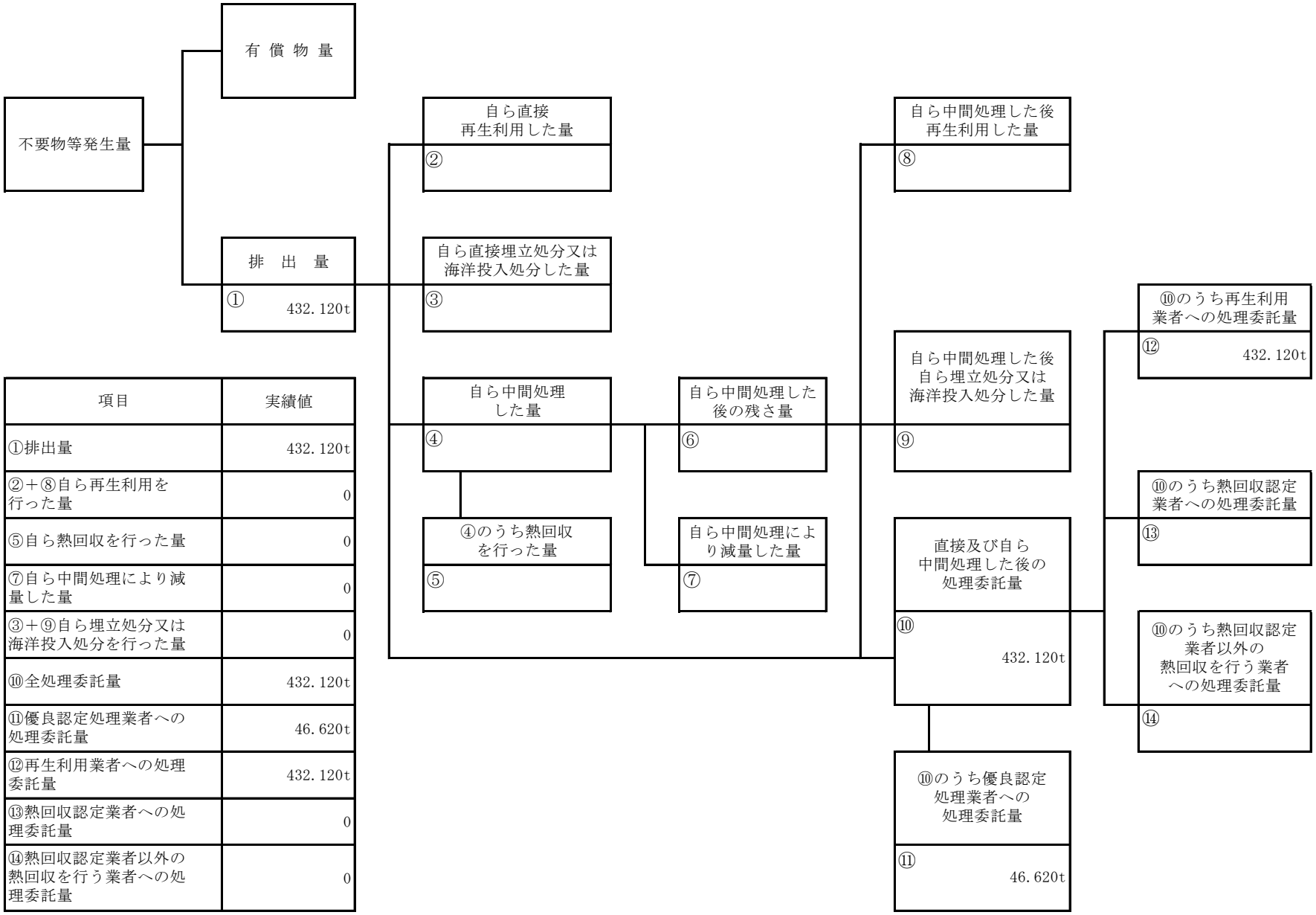
項目	目標値	項目	目標値
排出量	11,859.216 t	全処理委託量	11,859.216 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1438.579 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	11,798.914 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

(日本工業規格　A列４番)

計画の実施状況

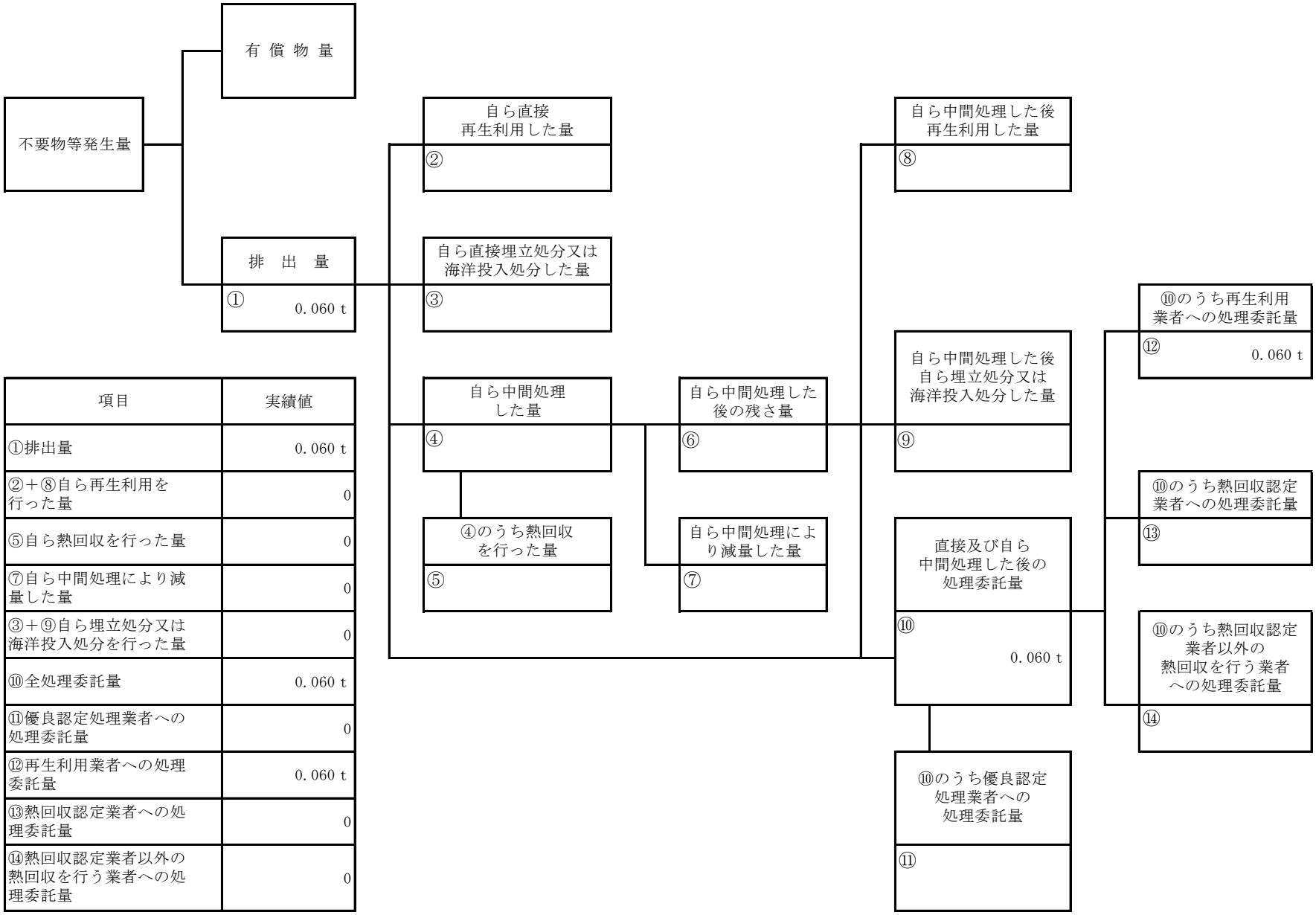
（産業廃棄物の種類：　アスコンがら　）



項目	実績値
①排出量	432.120t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	432.120t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	46.620t
⑫再生利用業者への処理委託量	432.120t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

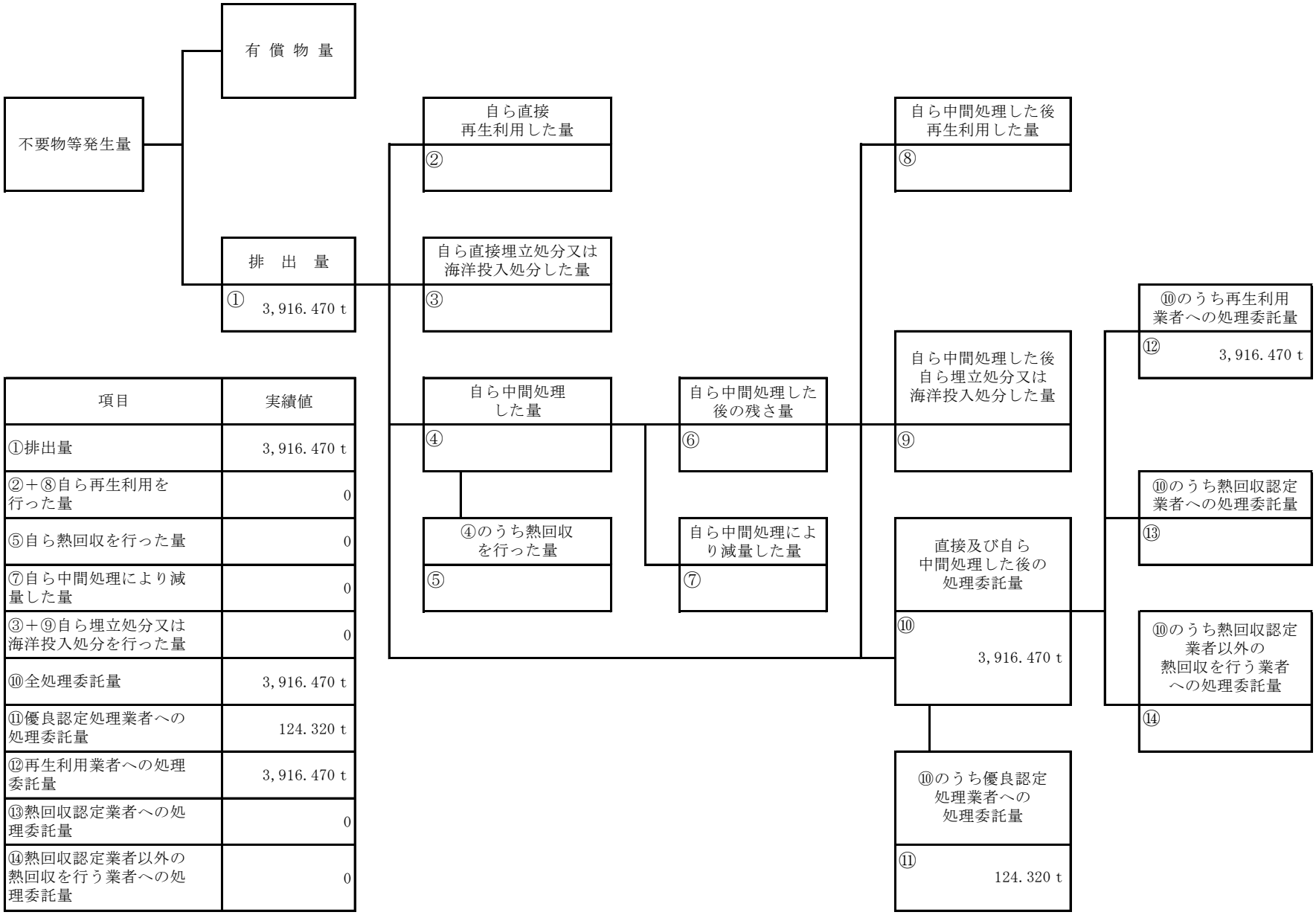
（産業廃棄物の種類：　　ガラス類 ）



項目	実績値
①排出量	0.060 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.060 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.060 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

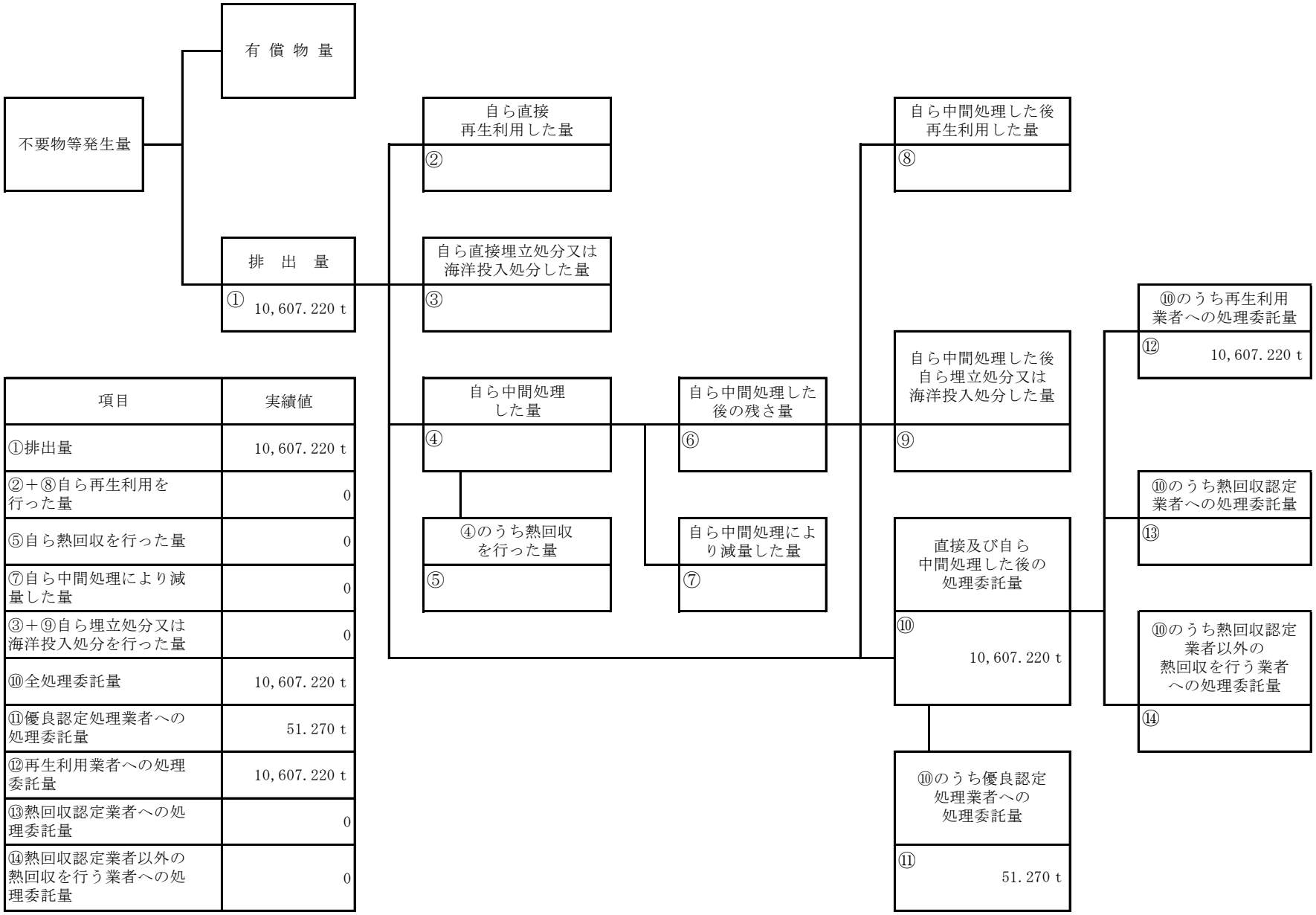
（産業廃棄物の種類：　　コンクリートがら　　）



項目	実績値
①排出量	3,916.470 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3,916.470 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	124.320 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3,916.470 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

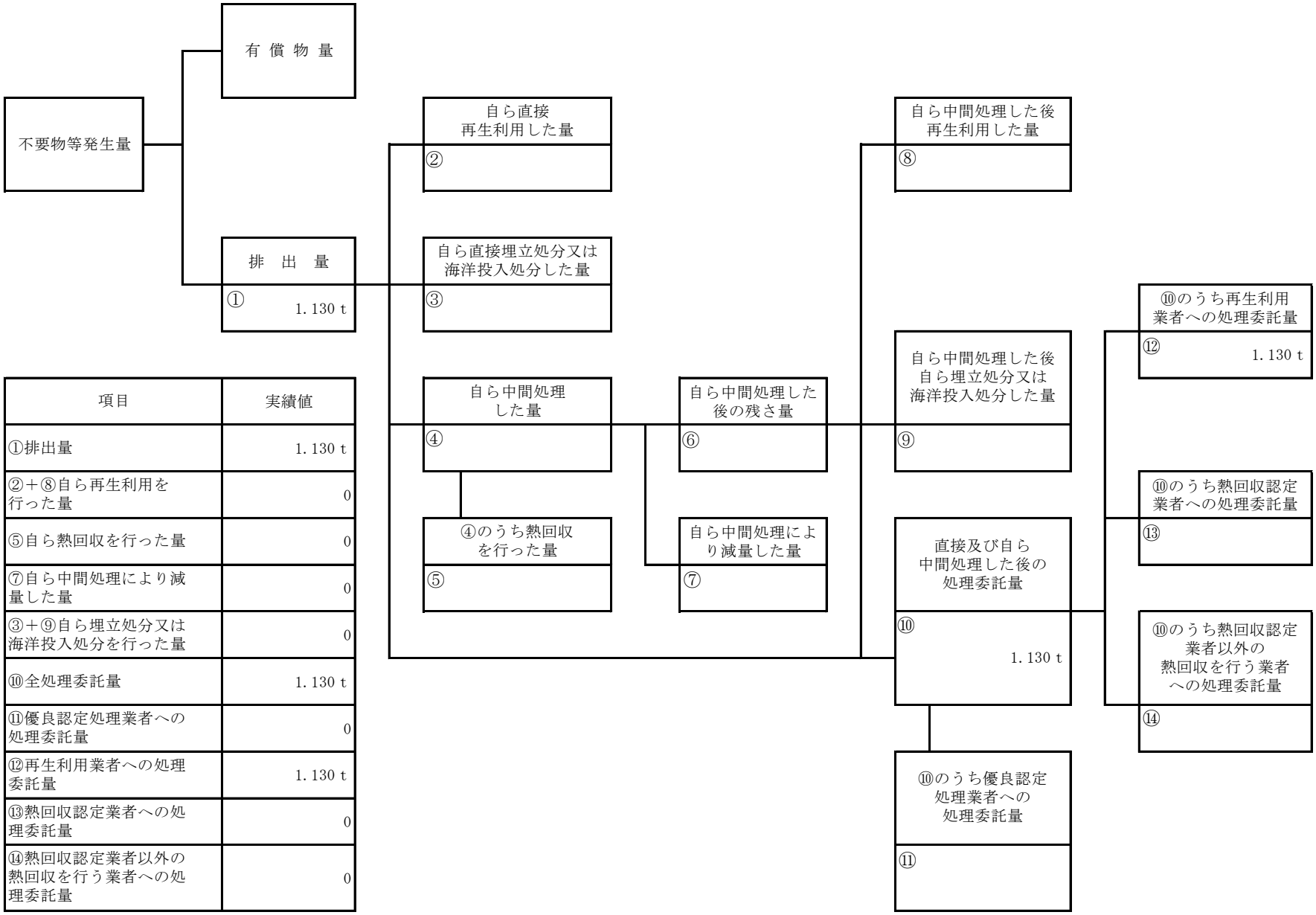
（産業廃棄物の種類：　その他がれき類



項目	実績値
①排出量	10,607.220 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	10,607.220 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	51.270 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10,607.220 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

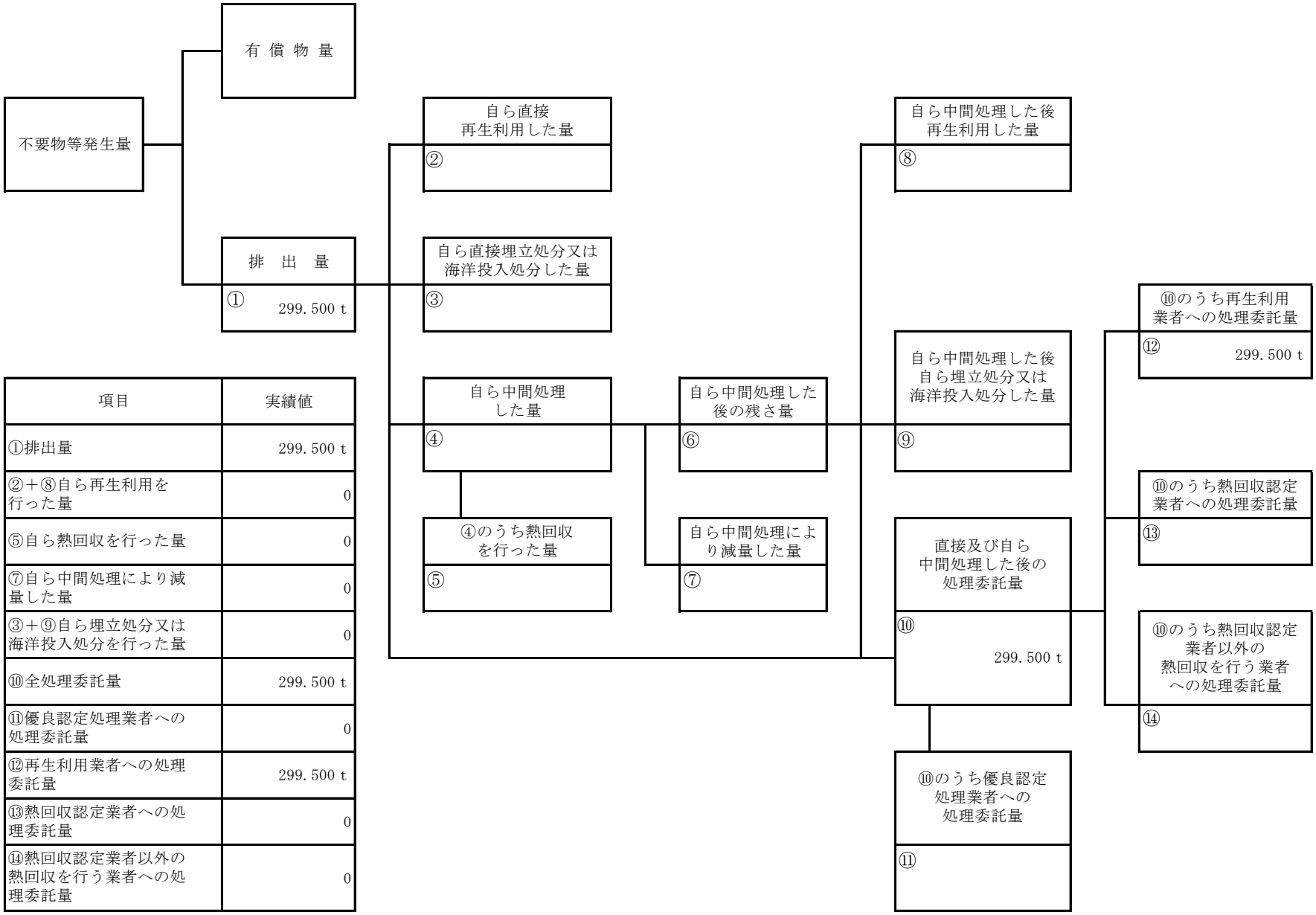
（産業廃棄物の種類：　　金属くず ）



項目	実績値
①排出量	1.130 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.130 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	1.130 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

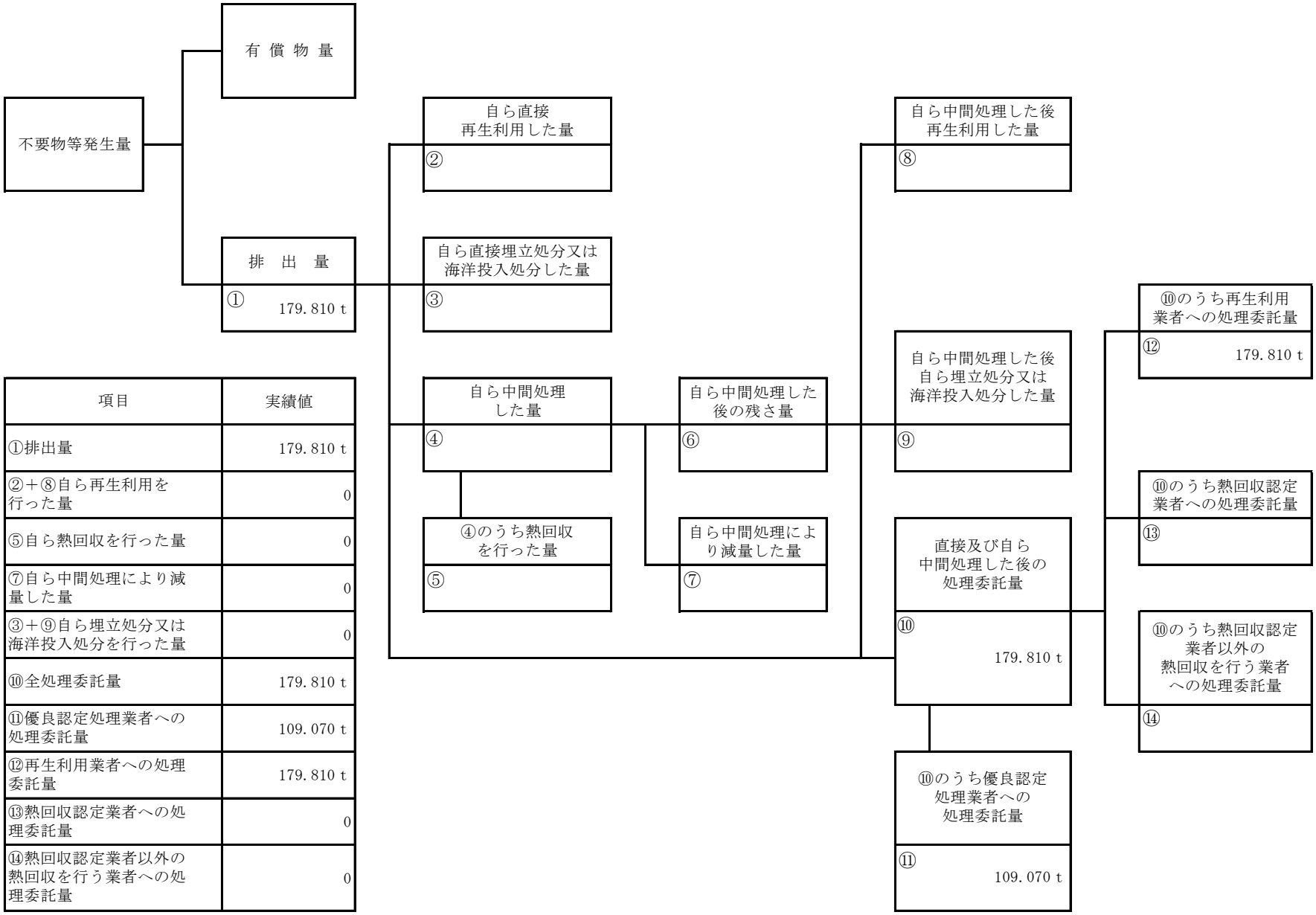
（産業廃棄物の種類：　建設汚泥　）



項目	実績値
①排出量	299.500 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	299.500 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	299.500 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

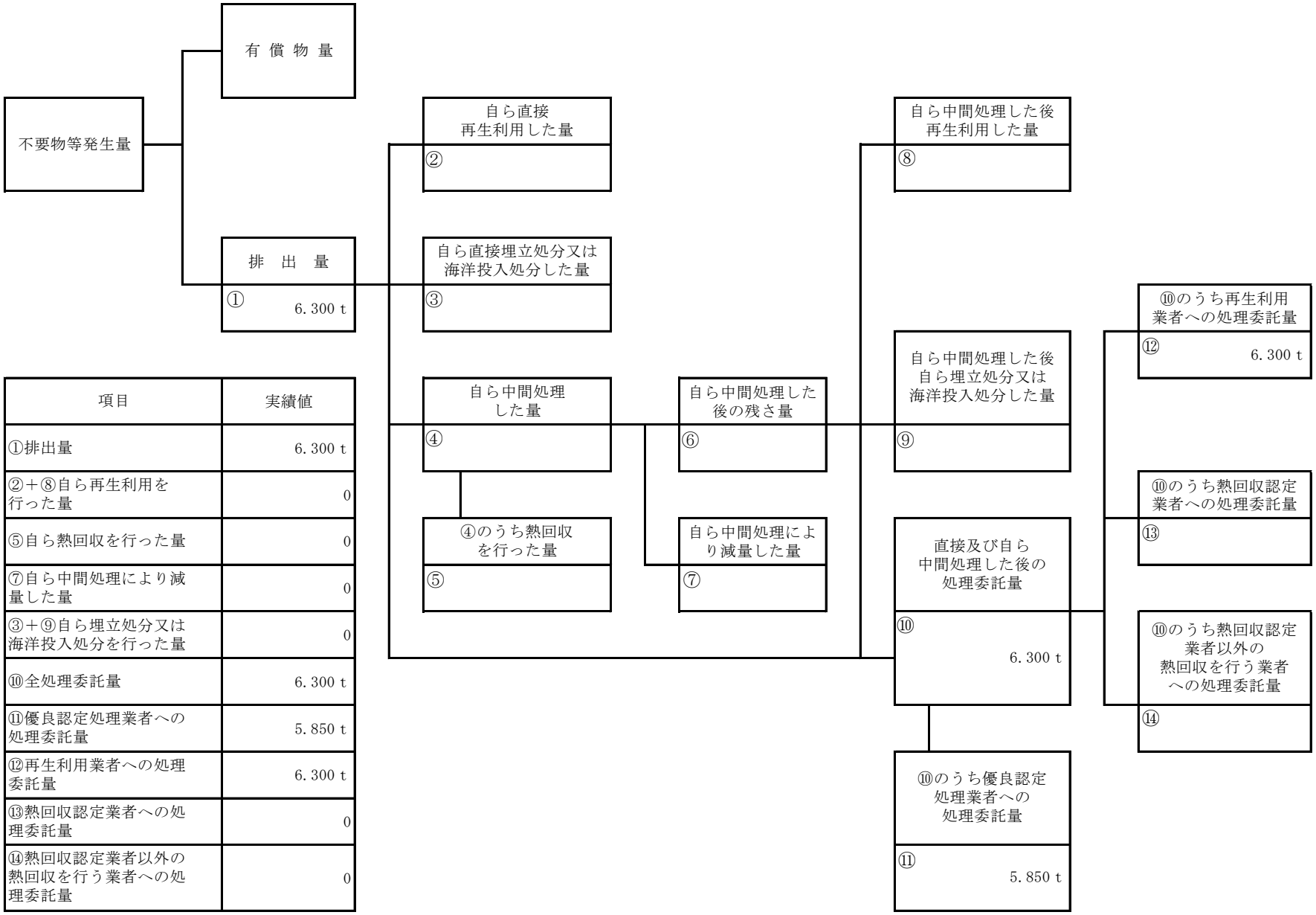
（産業廃棄物の種類：　混合廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	179.810 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	179.810 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	109.070 t
⑫再生利用業者への処理委託量	179.810 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

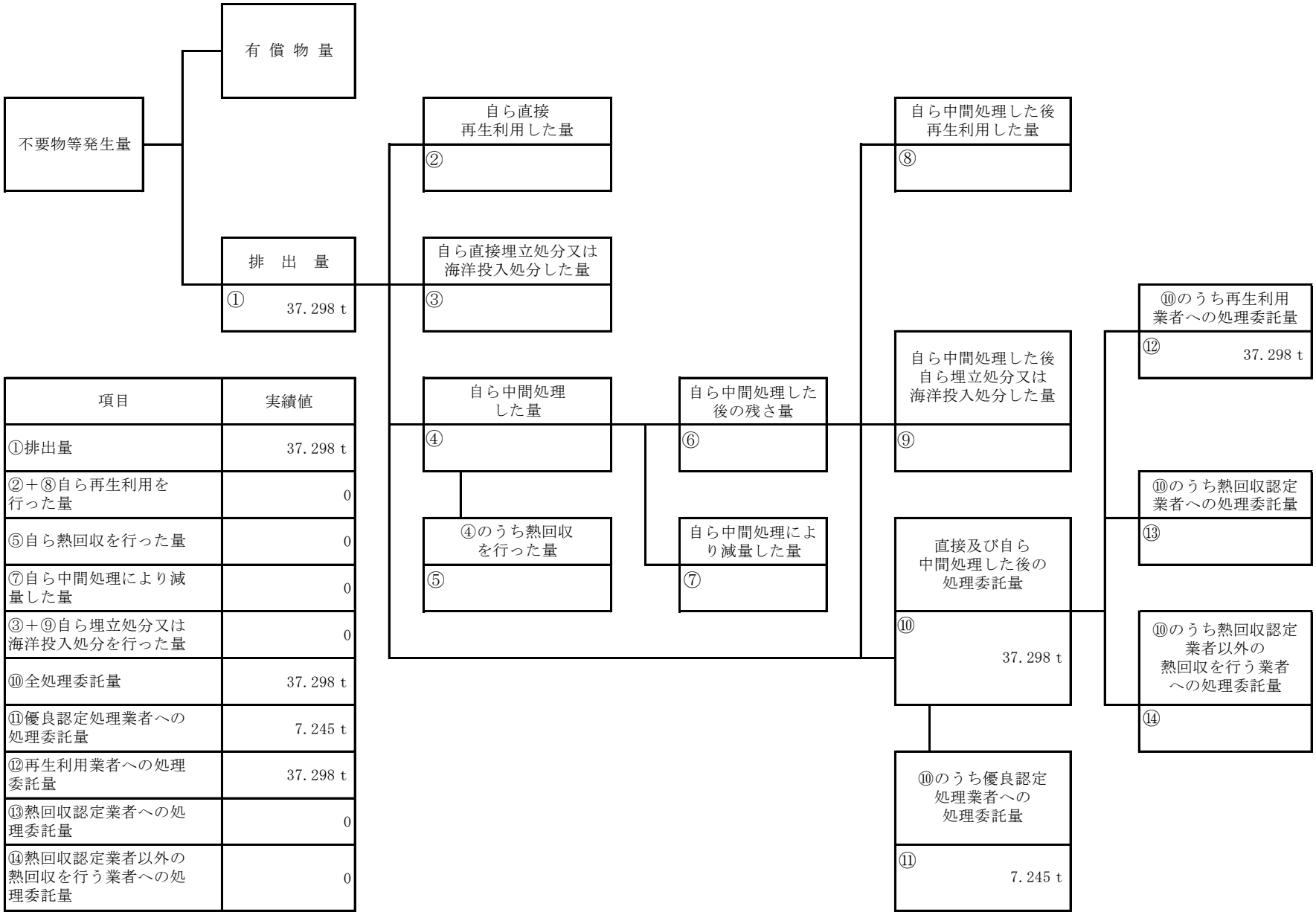
（産業廃棄物の種類：　紙くず　）



項目	実績値
①排出量	6.300 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6.300 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.850 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.300 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

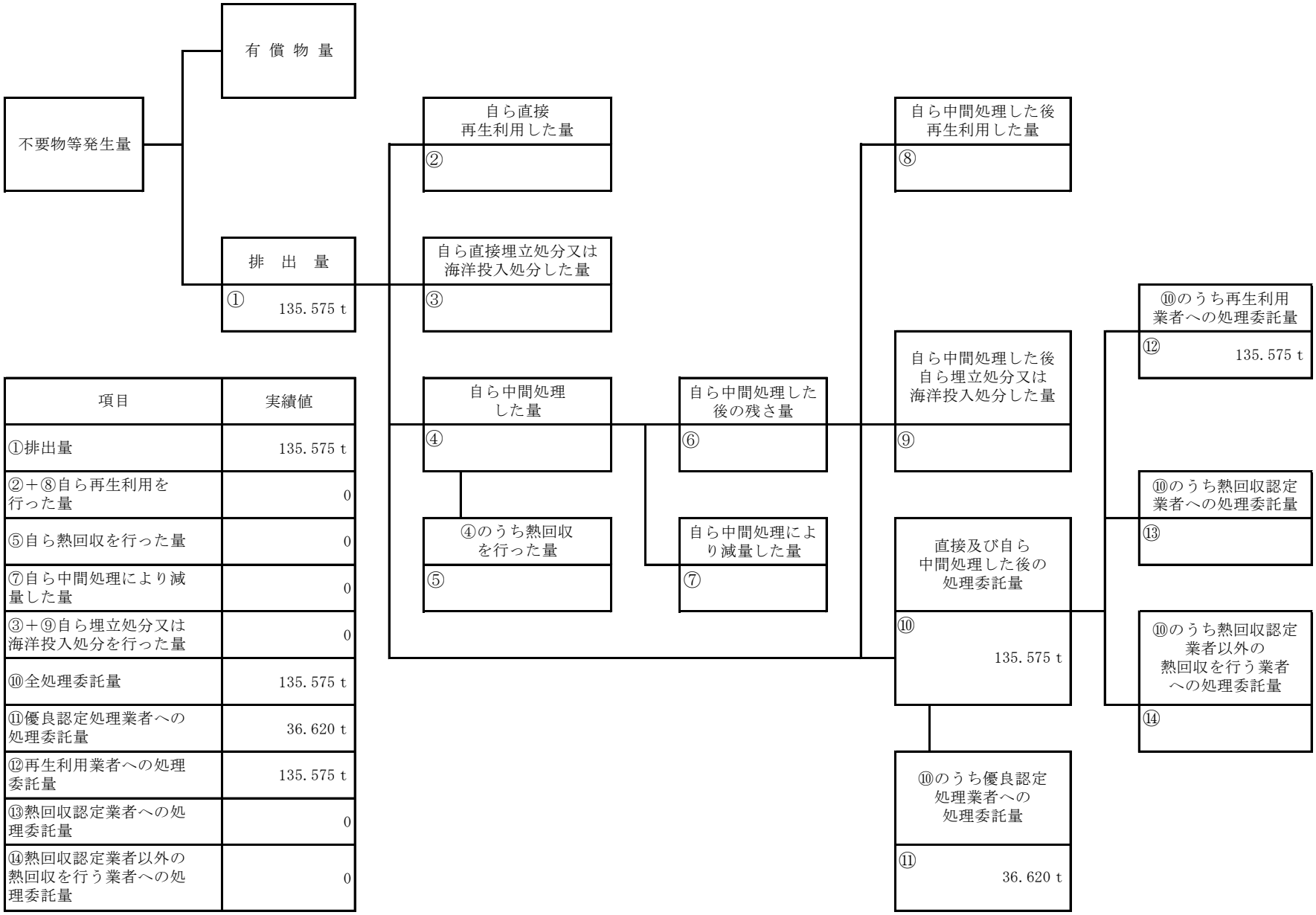
（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　）



項目	実績値
①排出量	37.298 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	37.298 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.245 t
⑫再生利用業者への処理委託量	37.298 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

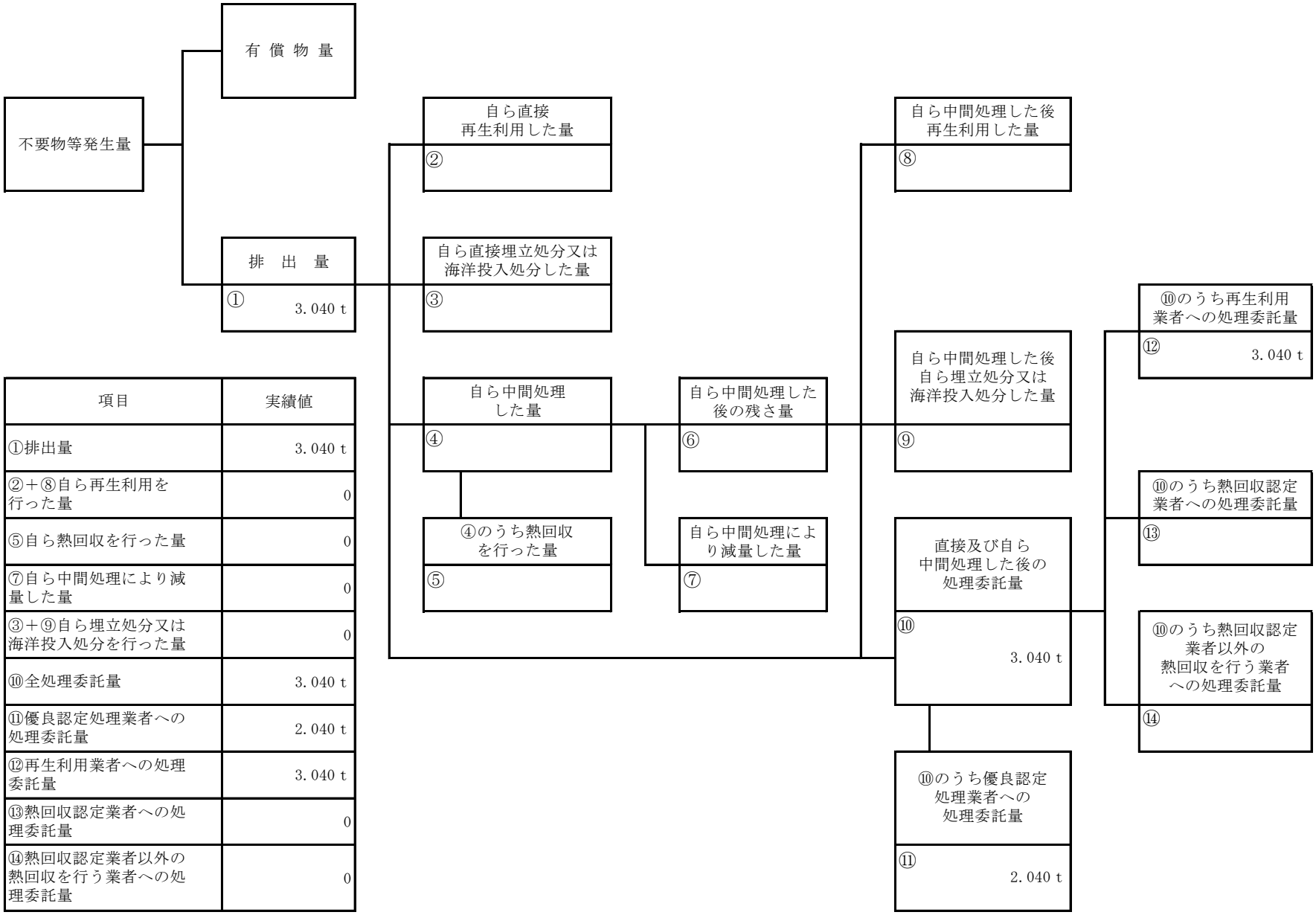
（産業廃棄物の種類：　木くず　）



項目	実績値
①排出量	135.575 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	135.575 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	36.620 t
⑫再生利用業者への処理委託量	135.575 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

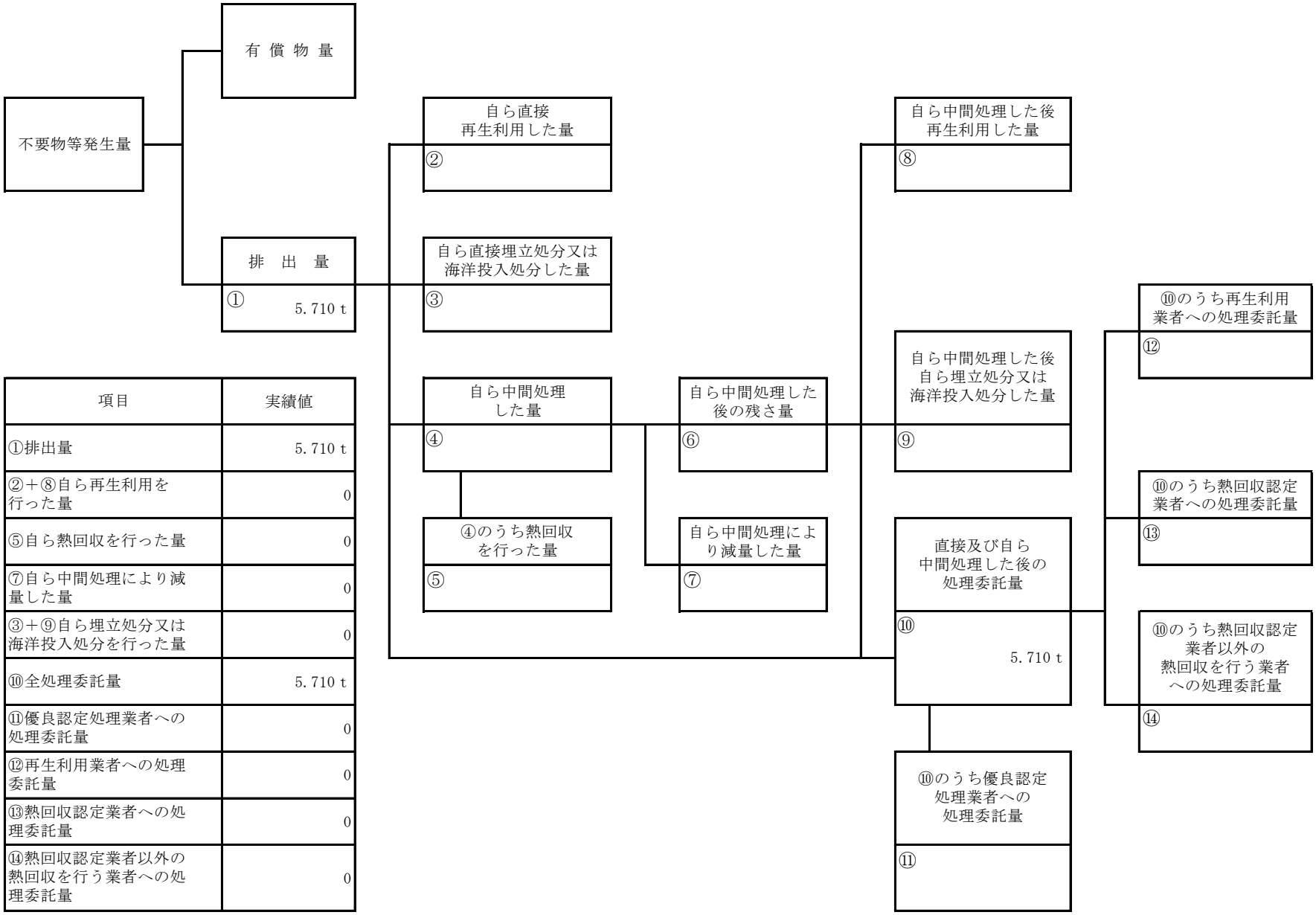
（産業廃棄物の種類：　繊維くず　）



項目	実績値
①排出量	3.040 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3.040 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.040 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.040 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

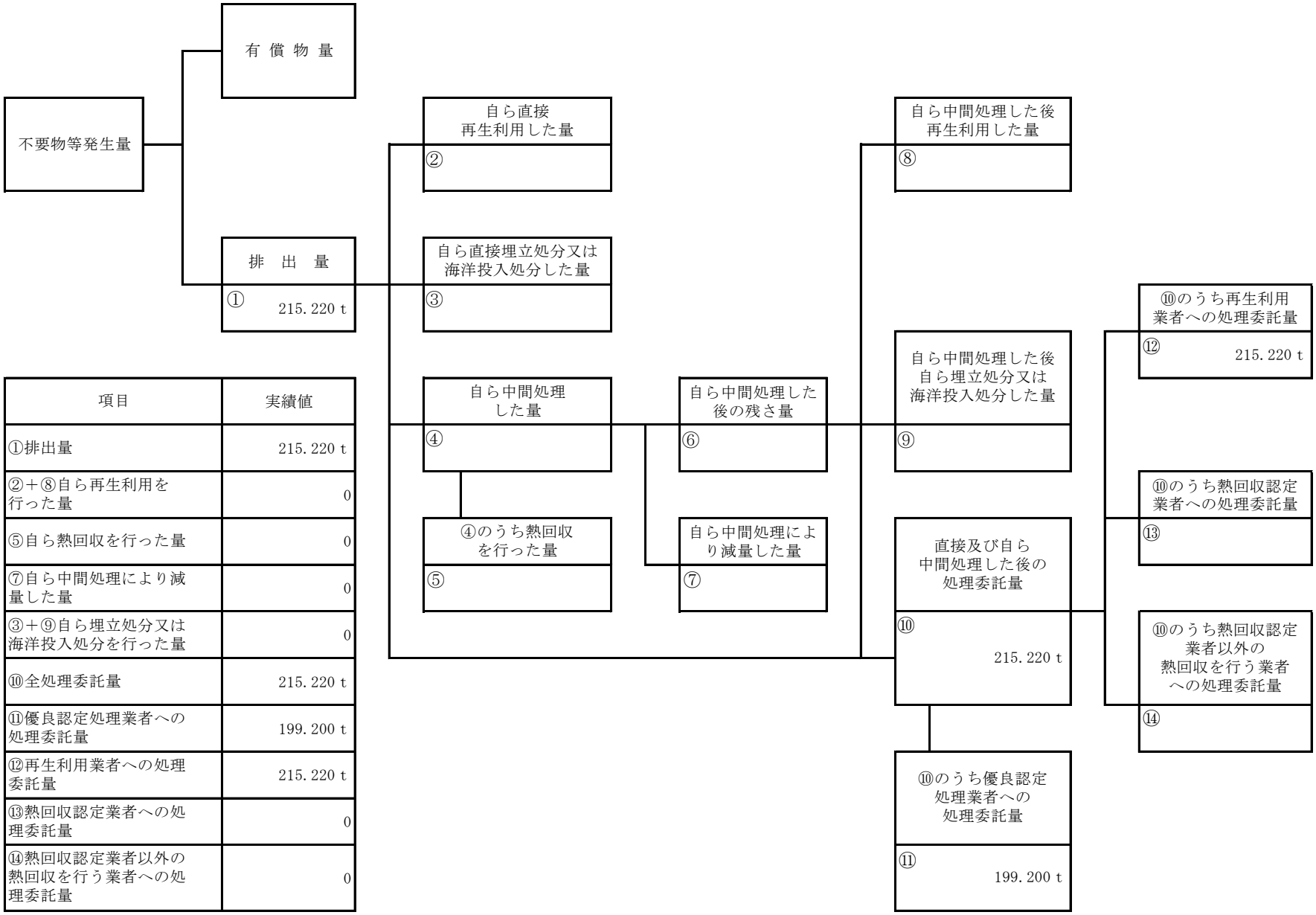
（産業廃棄物の種類：　石綿含有産業廃棄物安定型　）



項目	実績値
①排出量	5.710 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	5.710 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃石膏ボード（管理型）　）



項目	実績値
①排出量	215.220 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	215.220 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	199.200 t
⑫再生利用業者への処理委託量	215.220 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

1　翌年度の６月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

令和　5　年　6　月　22　日

北九州市長　　様

提出者
住　所　北九州市門司区小森江3丁目12番10号
氏　名　九鉄工業株式会社北九州本店
取締役本店長　井手　光明
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　０９３-３７１-１６６１

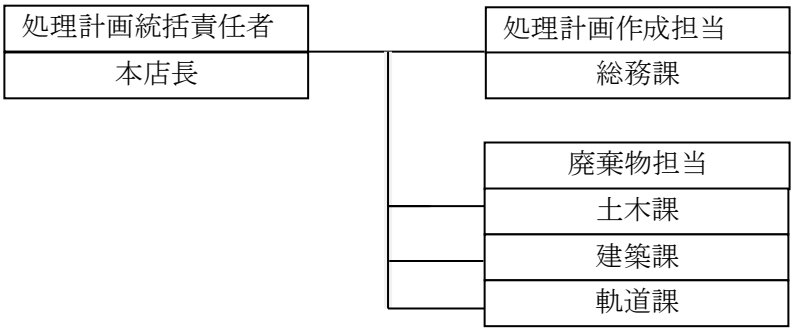
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	九鉄工業株式会社　北九州本店
事業場の所在地	北九州市門司区小森江３丁目１２番１０号
計画期間	令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業・総合工事業
② 事業の規模	前年度の完成工事高　8,298　百万円
③ 従業員数	115人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格　A列４番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 別紙2のとおり	【前年度（　　令和４　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排　　出　　量	t	t
	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物の発生抑制を考慮した工法等の採用促進や資材の繰り返し使用の徹底など廃棄物の削減に努めた。軌道の線路撤去工事においてバラストを処理したため、がれき類が多量に発生した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排　　出　　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 令和４年度実績を基に5%削減する計画を実施している。特に新築工事の設計・施工計画の策定にあたっては廃棄物の発生抑制の観点に立った使用材料の選定および工事方法の採用に努めるなど、計画目標の達成に向け取組みを強化する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類、金属くず等の分別を徹底して行っている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物の減少に努め、分別を徹底し、自らも再生資材を積極的に使用する。

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

（第４面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	①現状	【前年度（　　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組）		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	①　現状 別紙3のとおり	【前年度（　　年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） 廃棄物は再生処理施設へ委託することを原則としている。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画
別紙3のとおり</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

できる限り再生利用業者へ委託することとし、優良認定を受けた処理業者に委託を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

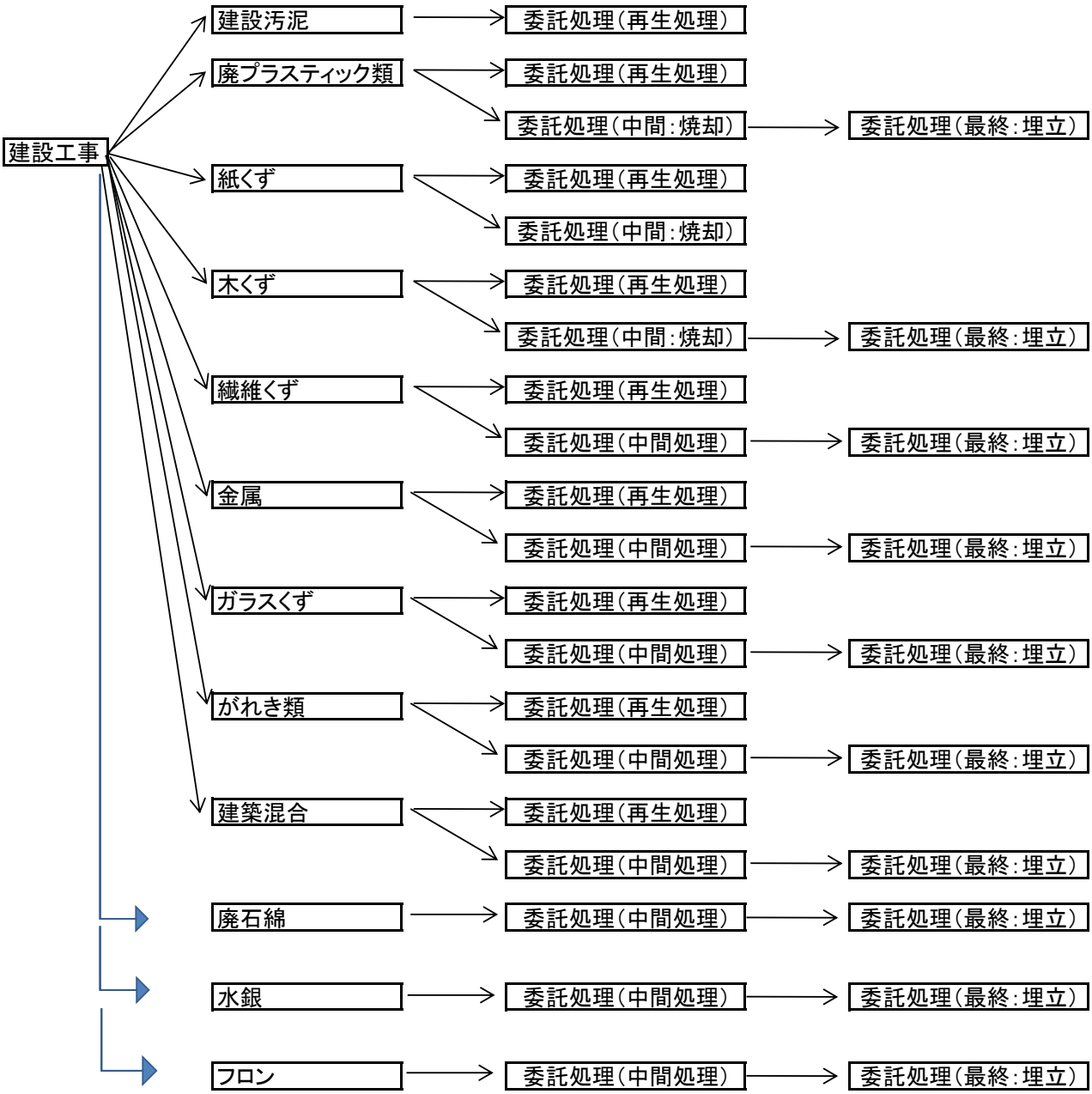
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙1

産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	排出量(t)		記事
	令和4年度実績	令和5年度計画	
アスコンがら	432.120	410.514	
ガラス類	0.060	0.057	
コンクリートがら	3,916.470	3,720.647	
その他がれき類	10,607.220	10,076.859	
金属くず	1.130	1.074	
建設汚泥	299.500	284.525	
混合廃棄物	179.810	170.820	
紙くず	6.300	5.985	
廃プラスチック類	37.298	35.433	
廃油	0.000	0.000	
木くず	135.575	128.796	
繊維くず	3.040	2.888	
石綿含有産業廃棄物安定型	5.710	5.425	
石綿含有産業廃棄物管理型	0.000	0.000	
廃石膏ボード(管理型)	215.220	204.459	
水銀使用製品	0.000	0.000	
フロン	0.000	0.000	
合　　計	15,839.453	15,047.480	

別紙3

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
アスコンがら	432.120	46.620	432.120		
ガラス類	0.060	0.000	0.060		
コンクリートがら	3,916.470	124.320	3,916.470		
その他がれき類	10,607.220	51.270	10,607.220		
金属くず	1.130	0.000	1.130		
建設汚泥	299.500	0.000	299.500		
混合廃棄物	179.810	109.070	179.810		
紙くず	6.300	5.850	6.300		
廃プラスチック類	37.298	7.245	37.298		
廃油	0.000	0.000	0.000		
木くず	135.575	36.620	135.575		
繊維くず	3.040	2.040	3.040		
石綿含有産業廃棄物安定型	5.710	0.000	0.000		
石綿含有産業廃棄物管理型	0.000	0.000	0.000		
廃石膏ボード(管理型)	215.220	199.200	215.220		
水銀使用製品	0.000	0.000	0.000		
フロン	0.000	0.000	0.000		
	15,839.453				

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
アスコンがら	410.514	44.289	410.514		
ガラス類	0.057	0.000	0.057		
コンクリートがら	3720.647	118.104	3720.647		
その他がれき類	10076.859	48.707	10076.859		
金属くず	1.074	0.000	1.074		
建設汚泥	284.525	0.000	284.525		
混合廃棄物	170.820	103.617	170.820		
紙くず	5.985	5.558	5.985		
廃プラスチック類	35.433	6.883	35.433		
廃油	0.000	0.000	0.000		
木くず	128.796	34.789	128.796		
繊維くず	2.888	1.938	2.888		
石綿含有産業廃棄物安定型	5.425	0.000	0.000		
石綿含有産業廃棄物管理型	0.000	0.000	0.000		
廃石膏ボード(管理型)	204.459	189.240	204.459		
水銀使用製品	0.000	0.000	0.000		
フロン	0.000	0.000	0.000		
	15,047.480				